

この報告書は、大学評価・学位授与機構（以下「機構」という。）が各国立大学を対象に行う全学テーマ別評価「教養教育」（平成12年度着手分）の一環として実施した教養教育に関する実状調査の結果を取りまとめたものである。

今回実施した実状調査は、各大学の教養教育に関する実状を把握した上で、適切な評価を実施する必要があることから行ったものである。また、この調査の結果を公表することによって、社会や大学等に対して国立大学の教養教育に対する全体的な取組状況等を分かりやすく示すことを意図している。

本報告書は、調査の目的、内容を説明した「調査の概要」、各大学から提出された回答の内容をもとに、全国の国立大学の教養教育の現状を分析し、その特徴や傾向などについて評価実施上の課題を明らかにする方向で整理した「国立大学における教養教育の取組の現状」、各大学の教養教育のとらえ方、目的及び目標や取組状況などを紹介した「国立大学の教養教育」から構成されている。

機構としては、今後、各大学の自己評価に基づく評価を行うが、この実状調査を通じて得られた各大学の情報をもとに、より適切な評価を行いたいと考えている。

---